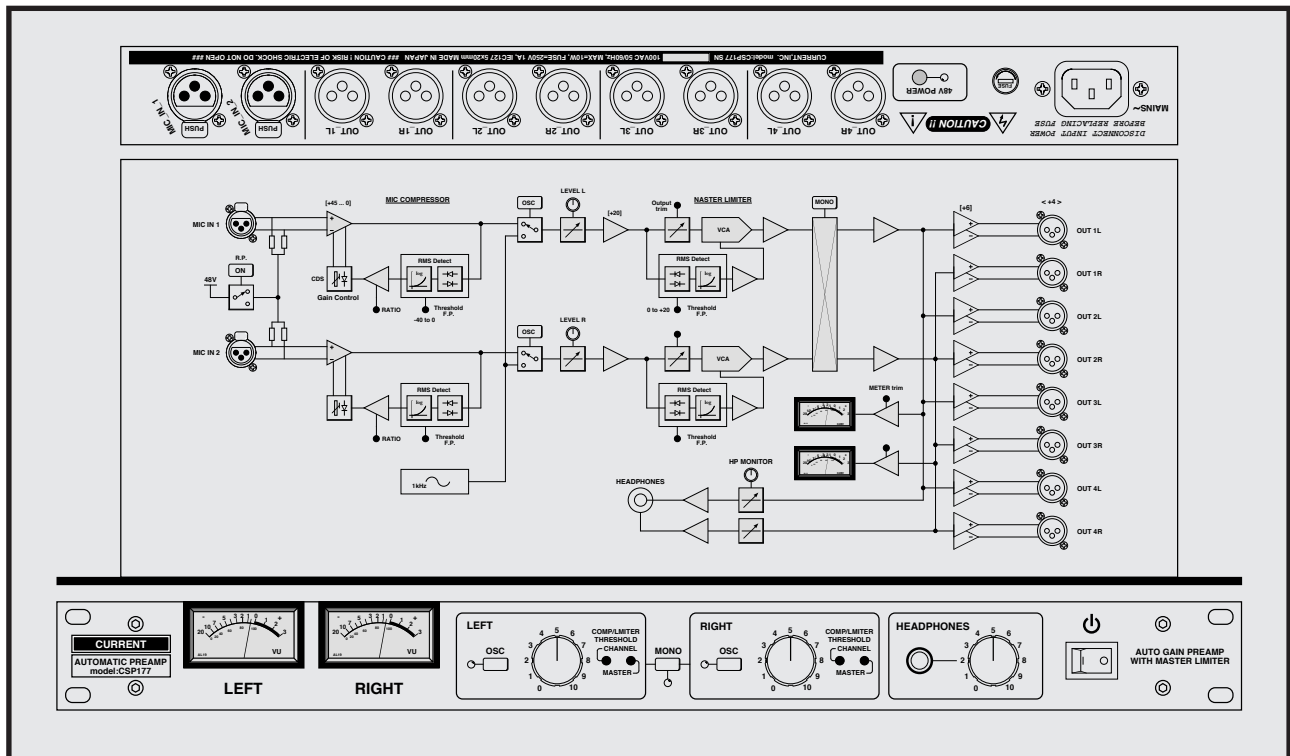


CURRENT PRODUCTS model:CSP177

AUTOMATIC PREAMP



- 全自動ステレオマイクプリアンプ
- オートゲインマイクアンプ
- マスターリミッター ●ヘッドフォンモニター
- VUメーター ●1 kHz OSC
- モノモード ●4分配出力 ●48Vファンタムパワー
- 19インチ1U

CSP177は全自動で一切の操作を不要にすることを目的として開発されたステレオマイクプリアンプです。自動ゲインマイクプリアンプとマスターリミッターにより過大入力でも歪むことなく適正レベルをコントロールしますので、スポーツ収録などのダイナミックレンジの大きい現場に最適です。

◆マイクプリアンプ

2chのマイク入力は48Vファンタム供給可能で、約40dBのゲインコントロールレンジを持ち、約+19dBuまでの入力が可能です。ゲインが不足する場合には内部ジャンパーでプリアンプ出力を+30dBアップすることもできます。また、コンプレッサーのスレッシュホールドはフロントパネルで調整できます。

◆マスター

マイクプリアンプの出力はフロントパネルのレベルトリムを経てマスターリミッターへ送られます。出荷時設定には+7dBu(+3VU)に設定してありますが、マイク入力レベルが上がってもこのレベルを超えることはありません。マスターリミッターのスレッシュホールドもフロントパネルで設定できます。(内部にはマスターリミッターのステレオリンクスイッチもあります)

◆モノモード

片方のチャンネルが故障した場合を想定して、2つのマイクプリアンプをモノミックスして出力することもできます。

◆出力

マスター出力を分配して4系統出力しています。また、出力レベルは視認性の良いVUメーターで確認できます。

◆その他

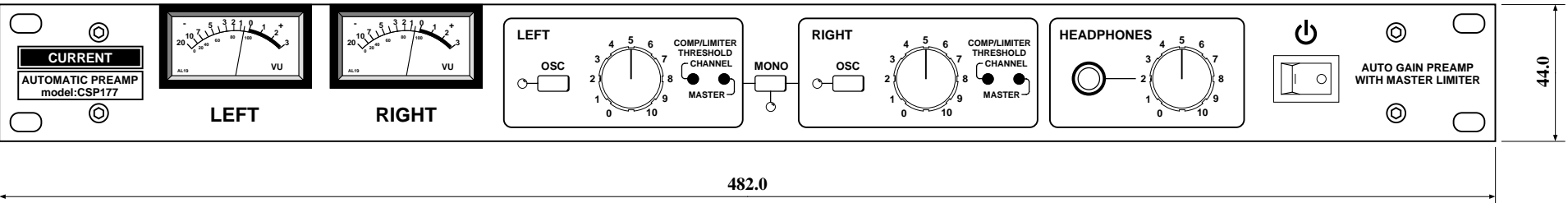
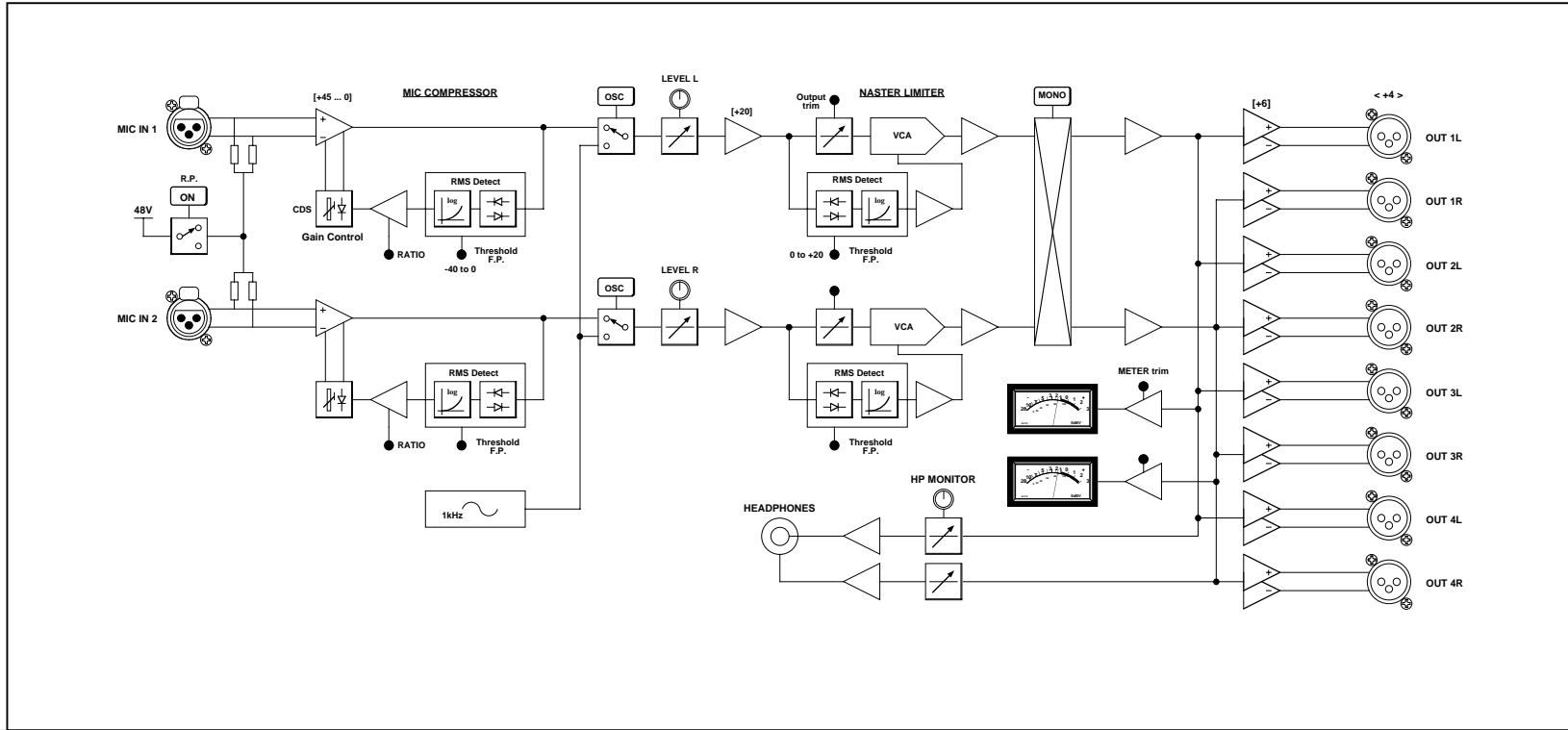
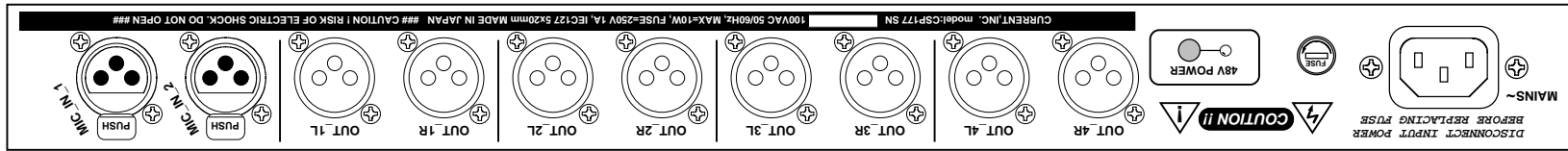
回線チェックやマスターリミッター調整用のオシレーターも内蔵しています。また、出力確認用のヘッドフォンモニターも備えています。



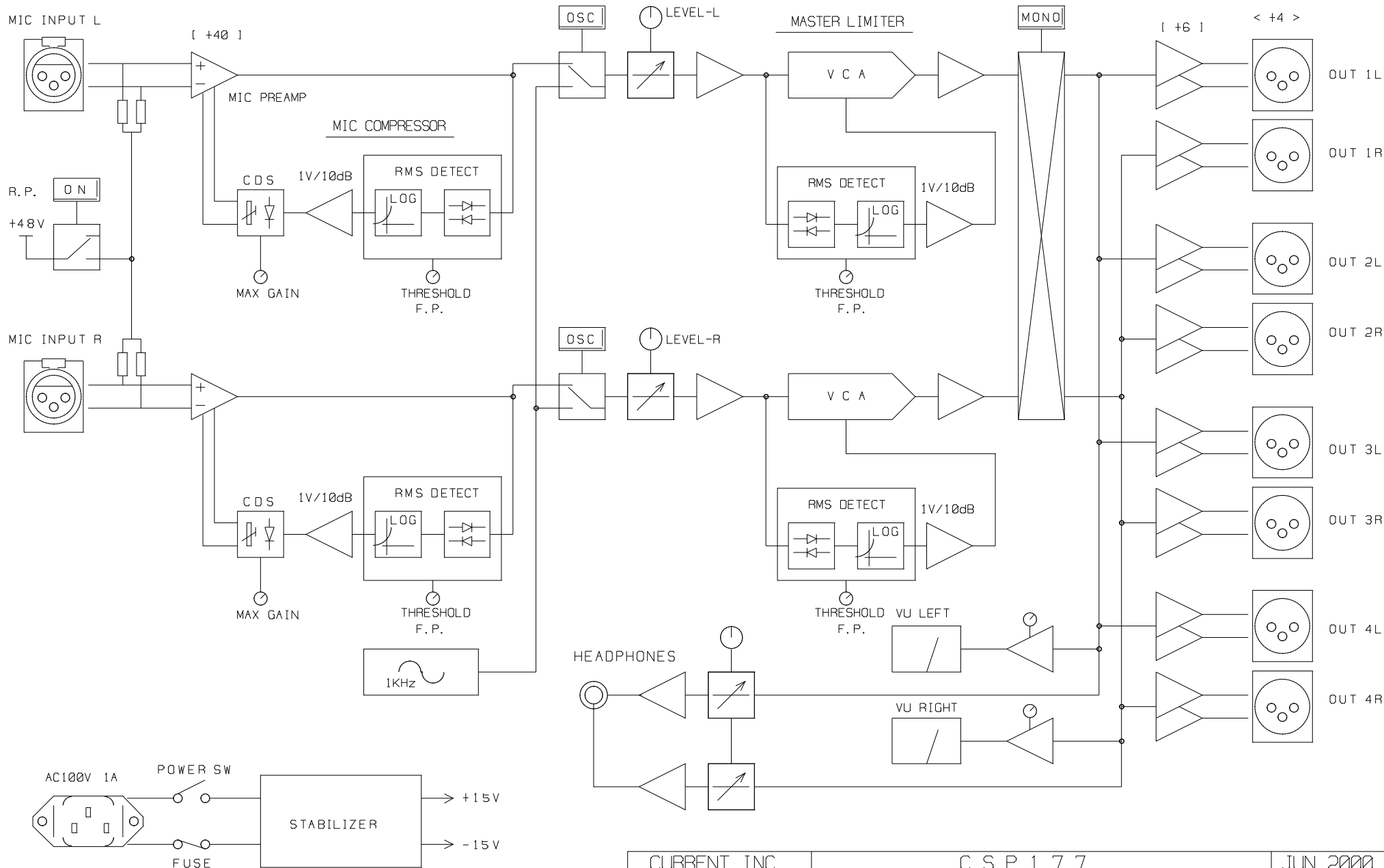
SPECIFICATIONS

- PREAMP CHANNEL: 2
- INPUTS: BALANCED, 1.8kΩ, maximum=+19dBu
- INPUTS CONNECTOR: XLR3-F
- OUTPUTS LEVEL: REF=+4dBu, MAX=+24dBu
- OUTPUTS IMPEDANCE: BALANCED, 50Ω
- OUTPUTS CONNECTOR: XLR3-M
- CONTROL: LEVEL, COMPRESSOR/LIMITER THRESHOLD
- MIC COMPRESSOR THRESHOLD: -20dBu ~ 0dBu
- MASTER LIMITER THRESHOLD: 0dBu ~ +20dBu
- MODE: MONO MIX ●DISPLAY: VU METER
- MONITOR: HEADPHONE MONITOR >50Ω, 0.1W
- OSC: 1kHz, +4dBu output, THD=<1%
- FREQUENCY RESPONSE: 20~20kHz ±0.1dB
- THD: < 0.03% at REF LEVEL, 1KHz
- EIN: < -125dBu at Max gain (20-20kHz unweighted)
- MAINS: 100VAC 50/60Hz MAX=15W
- DIMENSIONS: 482Wx44Hx480D 4Kg

御注文型番:CSP177
標準価格:¥420,000(税別)
付属品:ACケーブル



(c)CURRENT, INC.	AUTOMATIC PREAMP CSP177	JUN 2004
H.ICHIHASHI	PANEL DIAGRAM	CSP177-2004



CURRENT, INC.	C S P 1 7 7	JUN 2000
H. Ichihashi	SYSTEM DIAGRAM	CSP177-B

Automatic Preamp CSP177

動作原理

約 40 dB の可変ゲインレンジを持つプリアンプセクションは RMS 検出された入力信号レベルによってコントロールされます。CHANNEL スレッシュホールドレベル以下では約 +40 dB のゲインを持ち、入力レベルが上がるに従って約 1.3 : 1 のレシオでゲインリダクションを行い、最終的には 0 dB のゲインとなります。

ゲイントリムを経てマスターセクションに送られた信号は MASTER スレッシュホールドレベルで設定されたマスターリミッターにより最大出力レベルを規定されて出力されます。このリミッターは 100 dB のゲインレンジを持つため設定値以上のレベルが出力されることはありません。内蔵のオシレータを使用すると、このマスタースレッシュホールドレベルを簡単に設定することができます。また、マスターセクションでは内部のスイッチでステレオリンクすることもできます。このリンクは制御信号を加算するため左右のバランスを保ったまま動作します。片chのみスレッシュホールドに引っかかった場合でも両chをコントロールします。

調整方法 (正確な調整にはオーディオアナライザ等の計測器が必要です。)

1. ステレオリンク S301 は off。(デフォルト)
2. フロントパネルの全てのスレッシュホールドトリムは右いっぱいにする。(かからない状態)
3. レベルノブはセンターの 5 の位置。
4. 入力には何も接続しない。
5. 全ての半固定ボリュームをセンターにする。
6. R234, 237 で Q201, 202 のエミッタを +5.00V にセットする。
(この調整は出荷時以降変更する必要はありません。)
7. 出力レベルが -10 dBu になる 1 kHz サイン波を入力する。(約 -65 dBu)
この時のプリアンプのゲインは約 45 dB となる。
8. 左右の出力レベルを R305, 307 で相対的に合わせる。
9. RATIO の設定
CHANNEL スレッシュホールドを左いっぱいにする。 -40 dBu を入力して出力を -15 dBu になるように R216, 218 で調整する。
この時のレシオは約 2 : 1 となります。(約 1.2 : 1 ~ 2.5 : 1 まで可変可能)
10. MASTER リミッターの調整
内蔵 OSC を ON にして、レベルノブで出力を +8 dBu に設定して MASTER スレッシュホールドトリムで 1 dB 下がる +7 dBu (+3VU) に設定する。
このとき、左いっぱいに戻すと約 0 dBu まで下がることを確認する。
11. R309, 313 で THD が最小になるように調整する。

Automatic Preamp CSP177

マイク入力 1, 2

インピーダンスは1.8k のバランス入力です。最大入力レベルは+19dBuです。

ライン出力

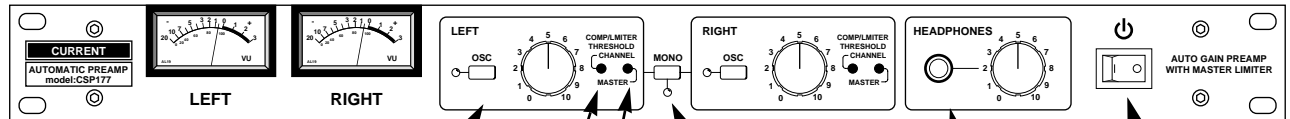
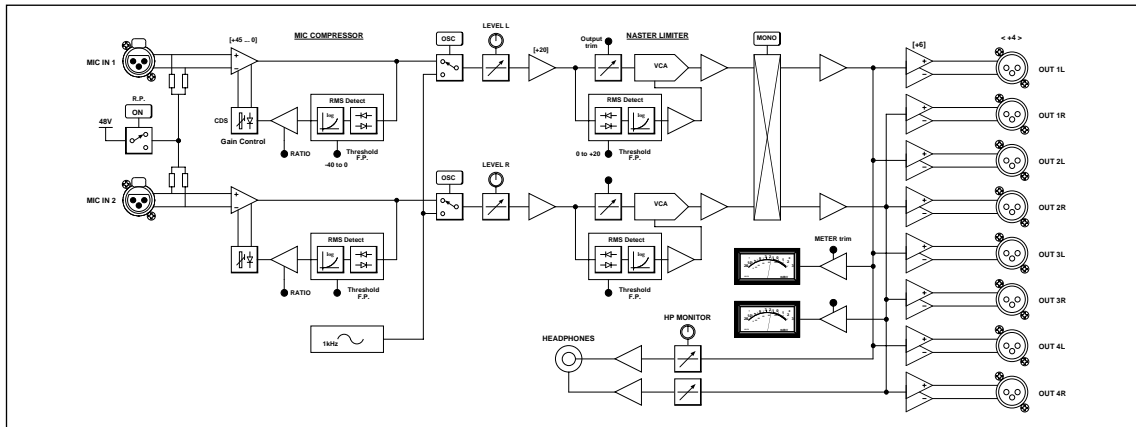
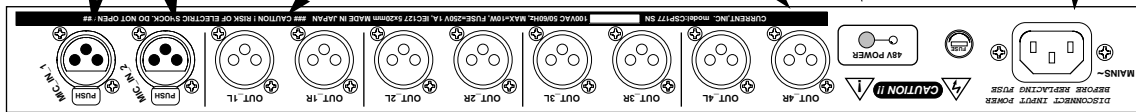
50 のバランス出力です。最大出力レベルは+24dBuです。4系統に分配されています。

AC電源入力

100V、50/60Hzで使用してください。ヒューズは250V 1Aの5x20mmタイプを使用して下さい。

48Vスイッチ

マイク用電源を供給します。ONの場合には赤LEDが点灯します。



VUメーター

基準レベルは+4dBuです。監視ポイントは出力アンプの直前で、ヘッドフォンモニターと同じポイントモニターできます。

オシレータ

出力回線のチェック及び、マスターリミッターのスレッシュホールドを設定するために1kHzオシレータを備えています。オシレータはゲイントリムの前でプリアンプの出力信号と切り換えています。ゲイントリムが基準位置の5の位置にあるときに約0VUを出力します。

ゲイントリム

出力レベルを設定出来ますが、マスターリミッターのスレッシュホールドレベル以上には上げられません。最大で20dBのゲインアップができます。基準位置はセンターの5の位置です。

モノスイッチ

最終出力段で左右の信号をミックスします。ミックスゲインは-6dBですのでレベル変化はありません。

マスターリミッタースレッシュホールド

MASTERトリムで出力リミッターのスレッシュホールドレベルを設定します。-20dBu ~ 0dBuまで可変可能で、出荷時には+7dBuに設定されています。

プリアンプスレッシュホールド

CHANNELトリムでプリアンプのスレッシュホールドレベルを設定します。プリアンプ出力に対して-40dBu ~ 0dBuまで可変でき、出荷時には約-18dBuに設定されています。レシオは内部で1.3:1に調整されています。この時、入力が20dB上昇したときに15dB上昇します。(5dBのゲインリダクション)

電源スイッチ

再投入は10秒以上待ってから行ってください。

ヘッドフォンモニター

メーターで監視している信号と同じものをモニターできます。ヘッドフォンジャックは1/4"標準プラグを使用してください。